

## 秋山 隆英氏

シービー・リチャードエリス  
取締役社長・CEO

#139



紹介者



横尾 敬介氏  
みずほ証券 取締役社長

いよいよオバマ氏が大統領になる。彼は、変革(Change)を訴えて当選した。

米国は、建国以来常に変革してきた。良い変革と悪い変革があった。最近、悪い変革が目立っていたように思う。

昨年11月、私の妻が主宰をしているVIP AZABUという勉強会で神谷秀樹氏という投資銀行家を講師にお迎えし講演会を開催した。神谷氏はニューヨークでRoberts Mirani LLCを経営、氏の最近の著書『強欲資本主義、ウォール街の自爆』

はベストセラーになったと聞く。

彼は、本来の米国の良い価値観が失われ、「傲慢」「貪欲」が米国経済を駄目にしたと言う。今回のウォールストリートに発した米国経済の崩壊は心の問題である、企業も人を大切に扱わなくなってしまったと指摘し、ビジネスの価値観を考え直す時が来たと警鐘をならしていた。

翻って米国建国のバックボーンはキリスト教の精神であった。それ故、大統領就任の宣誓は聖書に手を当てて神に誓い、ドル紙幣には、「In God We Trust」と書いてある。神学校として設

立されたハーバード大学など、東海岸の名門校の多くは神学に基礎を置いて始まった。大陸のあらゆる地に立派な教会を建てた信仰深きアメリカ人がその国を作ったはずではなかったか。

キリスト教の本質は、神を愛し、隣人を愛するということ二つの掟に集約される。

しかし、他人よりも自分が大事、顧客の満足や従業員の厚生よりもカネ、と、全くその本質が忘れられてきたかのようだ。また「まづ神の国と神の義を求めよ、そうすれば全てのものは与えられる」(神の義は正しいことをする)とも教えられている。米国には

## 変革

Work hard, become rich という掛け声のもとにアメリカンドリームを成就させた数々のサクセスストーリーがある。しかし、最近ではこのWorkhardの部分がどこかへいってしまい、単にbecome richだけが先行してしまっているかのようでもある。

オバマ氏の大統領選出は、あらゆる意味で新しい米国へ移行する大きな変化の第一歩を示唆しているのではないかと思う。その過程において、先人たちによって培われた尊い建国の精神を忘れることなく、正しい価値観に基づいた変革が進んでいくことを願う。

次回

佐山 展生氏

GCAサヴァイアングループ 取締役

ご登場いただきます。